

北九州市感染症発生動向調査感染症週報

令和6年第15週(令和6年4月8日～令和6年4月14日)

<発生動向>

- ・第15週の定点当たりの報告数は、RSウイルス感染症1.17と先週より増加しています。RSウイルス感染症は、令和3年以降、春から初夏から患者数の増加がみられ、夏にピークとなっています。咳やくしゃみ、ウイルスが付着した手等を介して感染し、成人の場合は、軽い風邪程度の軽症ですむ場合が多いですが、乳幼児や基礎疾患のある高齢者は、肺炎や気管支炎等の重篤な症状を引き起こすことがあります。子どもたちが触れるおもちゃや手すりなどは、こまめに消毒し、手洗いを徹底しましょう。
- ・第15週は、腸管出血性大腸菌感染症の報告が2件ありました。手や食品を介して感染するため、肉を焼く際は、「生肉を扱う箸やトング」と「自分が食べる用の箸」は使い分け、こまめに手洗いをしましょう。

■ 全数把握疾患報告

病名	北九州市		福岡県		全国(前週)	
	報告数	累積報告数	報告数	累積報告数	報告数	累積報告数
結核	8	47	20	249	238	3,643
腸管出血性大腸菌感染症	2	9	4	28	21	337
カルバペナム耐性腸内細菌目細菌感染症	1	7	1	26	21	463
梅毒	2	48	12	217	172	3,332

■ 定点把握疾患報告数

病名	北九州市			福岡県		全国(前週)	
	報告数	定点当たり	定点当たり(前週)	報告数	定点当たり	報告数	定点当たり
新型コロナウイルス感染症	70	2.00	2.71	544	2.75	20,968	4.26
インフルエンザ	26	0.74	2.51	237	1.20	25,106	5.10
RSウイルス感染症	28	1.17	0.33	120	1.00	3,148	1.01
咽頭結膜熱	10	0.42	0.17	53	0.44	1,769	0.57
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	69	2.88	3.46	589	4.91	9,565	3.06
感染性胃腸炎	108	4.50	5.58	497	4.14	11,375	3.64
水痘	5	0.21	0.13	17	0.14	385	0.12
手足口病	8	0.33	0.08	49	0.41	657	0.21
伝染性紅斑	0	0.00	0.00	3	0.03	57	0.02
突発性発しん	5	0.21	0.21	48	0.40	714	0.23
ヘルパンギーナ	1	0.04	0.00	14	0.12	97	0.03
流行性耳下腺炎	0	0.00	0.00	4	0.03	110	0.04
急性出血性結膜炎	1	0.17	0.00	2	0.08	7	0.01
流行性角結膜炎	3	0.50	0.50	10	0.38	369	0.53
細菌性髄膜炎	0	0.00	0.00	0	0.00	10	0.02
無菌性髄膜炎	0	0.00	0.00	0	0.00	10	0.02
マイコプラズマ肺炎	0	0.00	0.00	1	0.07	41	0.09
クラミジア肺炎	0	0.00	0.00	0	0.00	0	0.00
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	0	0.00	0.00	1	0.07	5	0.01

※データは速報値として公開するものであり、後日修正される場合があります。
 ※全国のデータについては、更新時期が北九州市および福岡県の翌週となるため、前週の情報を掲載しています。
 ○北九州市感染症情報ホームページ(<https://www.city.kitakyushu.lg.jp/ho-huku/18300149.html>)もご参照下さい。